

「くっ…♡
友希那ま●ご気持ちいっ♡」

「ぐっ…んっ…んっんっ!!」

「友希那ちゃん
また我慢とか無駄な努力しちゃうの?」

「そこがイんじゃないか
イかしがあって堪らねえぜ♡」

「んっぐ…ぎっ…んっ!
り…さを…解放…して…っ!」

「えっ
あんな気持ちよさそうに
やってるのに?」(笑)

「いああアあぁっ♡
イっ♡イぐ♡イがさないで♡
あだま壊れ♡壊れるからあぁっ♡」

「やっど
カメラも届いたことだし
撮影いっっちゃうよ♡」

「っ!」



「ぐ…っ…おおっ!?!
すっげ…締まりが…っ」

「ん…べっ…ん…べっ…ん♡」

「や…ばい…これ…♡
おねだり…激しす…ぎ…♡」

「おう友希那ちゃん
撮られると興奮しちゃう系?(笑)」

「マジかよ
友希那ちゃんそうなの?
気づいてやれなくてゴメンね♡」

「オラ
ちゃんと顔上げろっ!!」

「も…う限界…っ!
孕めっ孕め友希那!
俺そっくりのガキ孕めえええっ!!」



●REC

HQ 4K 



「数か月後」

「はあ……はあ……あ♡」

「友希那戻ったぜ
どうだ元気にしてたか？」



「あ…お願い…♡
お願い…しま…す…♡
い…れて…く…だ…さ…い…♡」

「ははっ
なんだずっと弄ってたのか？(笑)」

「い…弄…つ…て…も…弄…つ…て…も…♡
おち●ぼじゃ…ない…と…♡
だから…だ…が…ら…お…願…ひ…し…ま…す…♡」

「心配すんなって
今日もたっぷり可愛がってやるし
いくところもちゃんと撮ってやるからな♡」

「はあ…ああ…あ♡
ありがとうございます♡ご主人様…♡」

びびん♡
びびん♡
びびん♡
びびん♡
びびん♡
びびん♡
びびん♡
びびん♡
びびん♡
びびん♡





●REC

HQ 4K





●REC

HQ 4K



